



幻想的な炎の祭典に魅了

5月4日、第26回さきたま祭りがさきたま古墳公園で開催され、約10万人が来場しました。

夕日が沈み、辺り一面が暗くなると、荘厳な音楽に合わせてニニギの命とコノハナサクヤ姫が輦台に乗って登場。そして2人が産屋に火を放つと、その炎は一気に駆け昇り、神話の世界が目の前に再現されました。

また、稲荷山古墳と丸墓山古墳から古代人に扮した約200人がたいまつを持って下りる「御神火降り」では、たいまつが暗闇の古墳に浮かびあがる幻想的な光景が出現しました。会場に訪れた人は、古代ロマンあふれる炎の祭典に魅了されていました。



新鮮な行田産の農産物をどうぞ

4月17日、市民プール脇広場で午前8時から10時まで行田軽トラ朝市が開催されました。

会場には、15台の軽トラックが並び、朝一番で採れた新鮮な野菜や花卉、果樹などを気軽に買うことができるとあって、たくさんの人でにぎわいました。

里芋やトマトの試食、生産者との交流など訪れた人たちは朝のひとときを満喫していました。



なくそう 交通事故

5月11日、産業文化会館入口で春の全国交通安全運動出発式が開催されました。

式には、行田市交通安全対策協議会をはじめとする各団体が出席。行田市交通安全母の会会長による交通安全宣言などが行われ、交通事故撲滅に向けてそれぞれが気を引きしめて臨んでいました。

さらに、進修館高校吹奏楽部による演奏や、忍城おもてなし甲冑隊の出陣の舞が披露されるなど、運動の幕開けを盛り上げていました。